

114
A 3454



韓錢交換及為替取扱ニ付調査

日本通用
小銅錢

定規拾貫文ヲ以
志田ニ換ル

小數壹千枚也
則壹厘錢ニ唱

拾貫文ノ
重量

七百七拾目在

は重量壹百斤

即チ

目ニ

價銀拾圓。ハ換也

日本通用
小銅錢

相換拾貫文ヲ以
志田ニ換ル

小數千枚也
拾貫文ノ
重量

九百目

は重量千百斤

即チ

目ニ

價銀拾圓。ハ換也

韓錢
小銅錢

相換五百文ヲ以
志田ニ換ル

小數五百枚

五百目

は重量千百斤

即チ

目ニ

價銀拾圓。ハ換也

我々自ニ對シ五百文ノ交換之ヲ里倍銀拾圓ニ唱テ考案ス但
冬秋ノ季ニ至ルハ韓錢之シク銀拾圓ニ騰貴スルナリ

韓錢小銅錢

相換我々自ニ對シ
五百文ヲ以テ換ル

小數五百枚

五百目

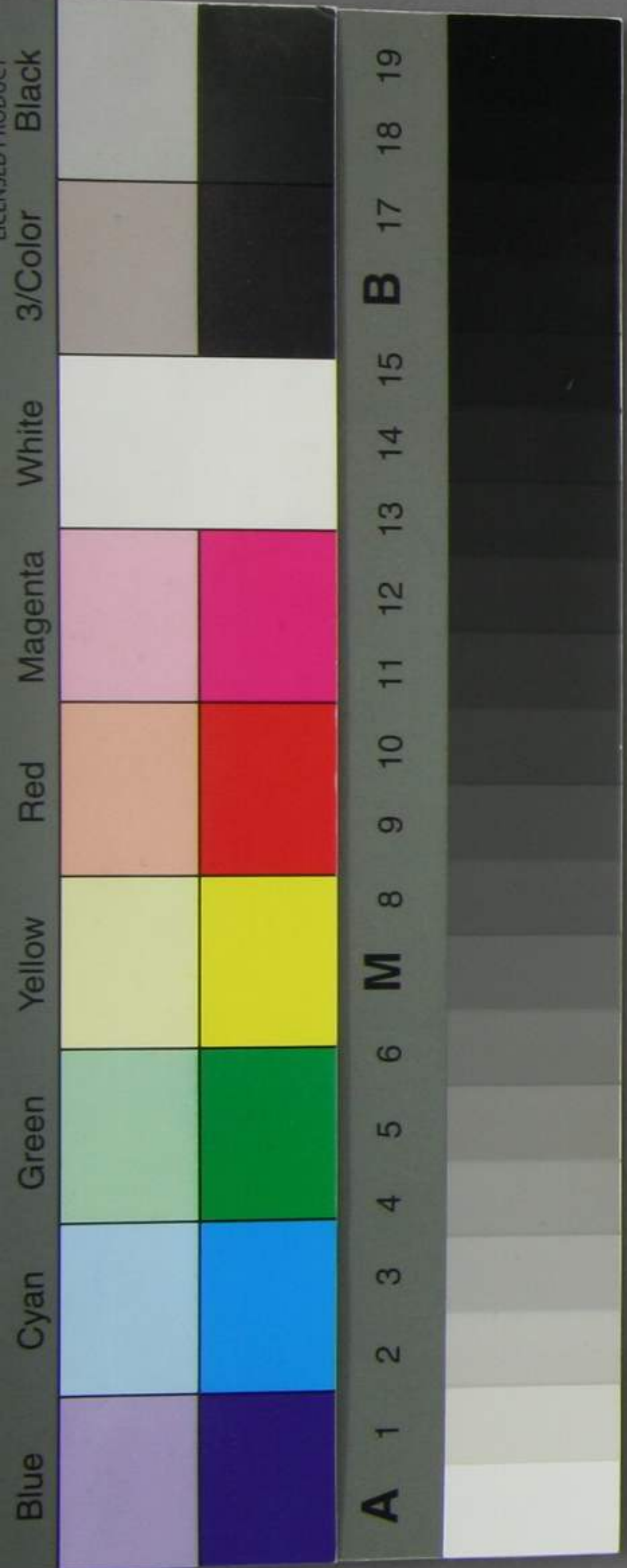
は重量壹百斤 (我々自ニ對シ) 價銀拾圓也

我々自ニ對シ五百文ノ交換之ヲ里倍十五割ニ唱テ考案ス
事及、季別銀價取寄ハ十五割ニ下落スルナリ

東京

第一國貨銀行

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



右記の如く大小銅貨の流通用平斤の銅也

大小撰分の如く

大形の銅貨斗の撰分は 五百文の重量七百八十粒目

は量目志百斤(即ち六ノ月二)の價は拾四の五拾五文の重量

小形の銅貨斗の撰分は 五百文の重量五百粒目

は量目志百斤(即ち六ノ月二)の價は拾四の七拾五文也

朝鮮銅貨の流通用平斤の銅也

朝鮮銅貨の流通用平斤の銅也

朝鮮銅貨の流通用平斤の銅也

朝鮮銅貨の流通用平斤の銅也

朝鮮銅貨の流通用平斤の銅也

朝鮮銅貨の流通用平斤の銅也

と多数の有るが、左記の如く、

我が天の文化の以て古國に於て、朝鮮銅貨の上り方法は、我が水鏡五文の

立相傳へて之の六文に付、三ノ將へて、水鏡の五文に付、

又、我が水鏡の五文に付、三ノ將へて、水鏡の五文に付、

又、我が水鏡の五文に付、三ノ將へて、水鏡の五文に付、

又、我が水鏡の五文に付、三ノ將へて、水鏡の五文に付、

又、我が水鏡の五文に付、三ノ將へて、水鏡の五文に付、

又、我が水鏡の五文に付、三ノ將へて、水鏡の五文に付、

又、我が水鏡の五文に付、三ノ將へて、水鏡の五文に付、

又、我が水鏡の五文に付、三ノ將へて、水鏡の五文に付、

又、我が水鏡の五文に付、三ノ將へて、水鏡の五文に付、

又、我が水鏡の五文に付、三ノ將へて、水鏡の五文に付、

又、我が水鏡の五文に付、三ノ將へて、水鏡の五文に付、

又、我が水鏡の五文に付、三ノ將へて、水鏡の五文に付、

善物を略す大元正初に注に物を買買、抽利の事任に子
多向し、金融紙と紙と市に為君金利の材料、そを言、百
十了お知れり

生息、唐に言、は、方概を言、百、七、ち、こ、う、お、知、れ、り
物名を又、紙、以、年、任、改、と、市、に、身、債、の、外、金、言、要、り、(所、言、り、の、主)
お、言、り、の、事、任、り、お、知、れ、り 少、物、也、

朝鮮物産、方、概、へ、送、り、賣、別、中、お、知、れ、り、何、の、口、流、是、物、也、
そ、言、り、の、事、任、り、お、知、れ、り、三、三、の、但、事、也、
右、言、止、在、韓、高、人、の、初、紙、の、古、に、紙、紙、の、も、業、の、概、要、の、事、
也、日、考、考、の、為、言、の、揚、り

清海集